

## 成田国際空港株式会社と共同での 早生桐を活用した CO<sub>2</sub> 排出量削減実証事業

株式会社ナリコー（以下「NRK」という）は、成田市の成田国際空港近接用地において、成田国際空港及び周辺地域における CO<sub>2</sub> 排出量削減に向けて、成田国際空港株式会社（以下「NAA」という）と共同で、早生桐を活用した実証事業に着手しました。

80本の早生桐を植付け育成し、生育状況の計測、CO<sub>2</sub> 排出削減量（炭素固定量）の算定などを行います。

### 1. 早生桐（そうせいきり）とは

早生樹（早く成長する樹種）の一種で、5～6年で成木（高さ15m）になります。

1本あたり1年あたりのCO<sub>2</sub>の吸収能力が高く、CO<sub>2</sub>吸収量は42.5kg/本/年です。これは、成蹊大学が2021年3月の資源素材学会で発表した数値であり、従来の杉・桧の数倍となります。

下記のとおり、従来の日本の桐と同等の性質があります。

- ・軽い（乾燥時の比重0.3）
- ・調湿性能が高い
- ・断熱性能が高い
- ・柔らかな肌触り
- ・腐りにくい
- ・強度は杉の6～7割程度

従来の日本の林業木材に比べて短期のサイクルで供給可能です。

これらの性質を活かして、建築内装材、合板の材料などへの活用が期待されます。

### 2. 株式会社ナリコー（NRK）の早生桐に係る取組み

2020年5月から、成田市及び富里市において早生桐の植付け育成を開始しました。

一企業として、成田周辺地域の環境改善、地球温暖化防止に貢献することを目的として取組みを始めました。

2020年12月にナリコーグループとしてSDGs宣言を行いました。重要課題の一つとして「地球環境・地域環境の保全」を掲げ、取組方針・達成すべき目標の中に早生桐育成事業を位置づけました。

今現在、成田市及び富里市の5か所の圃場に、植付け後2年半、1年半、半年のもの合計約1,600本の早生桐を育成しています。（2年半もので平均高さ6m、最高8mに生育）

成蹊大学との共同研究として事業を進めており、生育状況の計測、CO<sub>2</sub> 排出削減量（樹木中及び土中の炭素固定量）の算定及び分析等を行っています。

（裏面に続く）

2021年6月、沖縄県にナリコーファーム沖縄株式会社を設立し、早生桐苗の生産を開始しました。苗はNRK以外の全国の団体、企業への販売も視野に入れています。

苗生産、販売、育成、成木伐採、材木販売までの一連の活動のビジネス化を目指しています。ビジネス化出来ることが、環境改善に向けての事業継続上重要であると考えています。

NPO 法人地球こどもクラブとも協力しています。

### 3. 今回の共同実証事業の枠組み（役割分担）

NRKは事業実施用地をNAAから提供いただき、植付け、育成、伐採、伐採木販売までを行います。CO<sub>2</sub>の吸収量を環境価値化し、成田空港からの排出量削減に寄与します。



直径約70cm、樹齢15年の早生桐。自社所有。この樹木から種を採取。(2021年12月撮影：国内某所)



ナリコーファーム沖縄(株)での早生桐苗生産。  
2022年5月「ナリコー早生桐」を商標登録。  
(2022年10月撮影：沖縄県)



成蹊大学との共同研究。  
根まで掘り取りして、細断し、実験室で固定炭素量測定。  
CO<sub>2</sub>吸収量推定。(2021年11月撮影：成田市)



NRKの圃場、植付け後2年3ヶ月、平均高さ5.9m  
(2022年8月撮影：成田市)

【本文に関するお問い合わせ先】  
所在地：千葉県成田市三里塚光ヶ丘1番地1331  
株式会社ナリコー 顧客広報管理室 担当：加瀬・城間  
TEL：0476-36-4051 FAX：0476-35-5360  
Mail：info@narikoh.co.jp URL：https://www.narikoh.co.jp/

